

堆肥センターを核に循環型農業を構築（西脇市）

堆肥の原料となる家畜排せつ物の収集・運搬から堆肥の製造・販売・散布まで堆肥センターが中心となって実施。



【西脇市土づくりセンターゆめあぐり西脇】

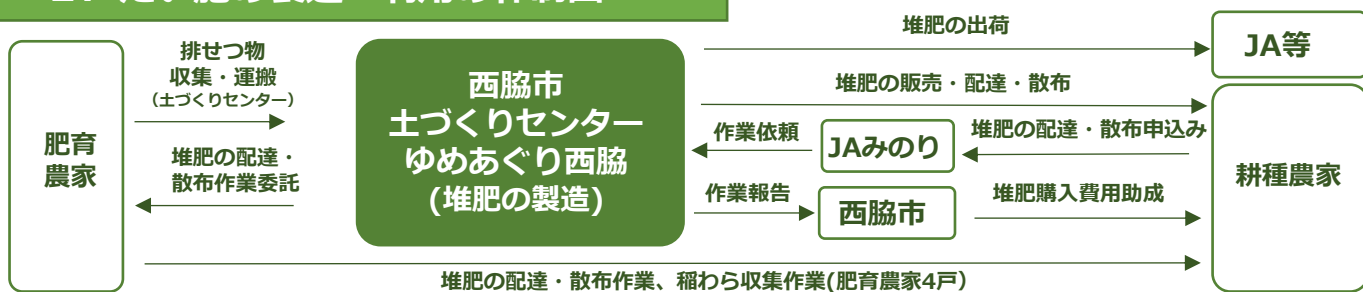


【堆肥の散布】

1. 取組概要

- 西脇市土づくりセンター「ゆめあぐり西脇」は、西脇市が有機の里づくりの拠点施設として設置。施設が所在する黒田庄地区は、ブランド「黒田庄和牛」の産地であり、肥育牛等の排せつ物を受け入れ堆肥化。
- 施設の指定管理者であるJAみのりが運営。土づくりセンターが13戸の畜産農家から排せつ物を収集運搬し施設に搬入。製造した堆肥は、バラで圃場に散布、袋詰め（15kg入り）の荷姿で販売。
- 堆肥の販売経路は、土づくりセンターで直接販売するほかJAみのり等にも出荷。また、土づくりセンターが堆肥の配達・散布も受託しており、作業の申込みはJAみのり(西脇営農経済センター)が窓口となり注文を取りまとめている。
- 土づくりセンターが堆肥の配達・散布を肥育農家に委託し、肥育農家と耕種農家が稲わらと堆肥を交換する耕畜連携の取組を実施。
- 西脇市は、堆肥の利用促進のため、耕種農家に対して堆肥代金の半額を助成。
- 堆肥は主に水稻（山田錦等）や黒大豆栽培に利用されており、化学肥料（元肥）の削減につながっている。

2. たい肥の製造・利用の体制図



3. 実績（令和5年度）

家畜排せつ物受入実績：5,505 t

施設利用畜産農家数：13戸（飼養頭数1,307頭※R 6年3月末現在）

堆肥出荷実績：1,829 t

バラ出荷：1,503 t（配達・散布：841t、引取：662t）、袋詰め326t

堆肥散布面積：40ha（うち土づくりセンター：16ha、肥育農家：24ha）

稲わら収集面積：24ha